

所在県市町村	地区名	取組の概要
新潟県妙高市	おおあざかわかみ 大字川上	 (上江用水記念公園草刈り)  (上江用水写真展) 上江・浅野用水の歴史や先人たちの思いを伝承するため、関係機関と協力し地域全体で啓発活動。 平成27年に上江用水路が世界かんがい施設遺産に登録されたこと及び浅野用水の新隧道竣工を契機とし、上江用水路の取入口にあたる町内会として上江用水路近隣の環境整備、上江・浅野両用水に関わる歴史的資料の調査・広報、写真展の開催など地域振興にかかる独自の啓発活動、各関係機関と連携した農業農村振興のため啓発活動を実施。
新潟県魚沼市	かぶしきがいしやみな 株式会社南魚沼生産組合 (どろんこ会グループ)	 (後継者不足で引き継いだ棚田)  (地元の方が鎌の使い方をレクチャー) 減農薬による米の生産・販売と農業体験、棚田の後継により南魚沼の農業と原風景を守る活動を実施。 園児たちに、お米の美味しさと生産から収穫までの労働を知ってほしいと考え、創業当時（H10）から南魚沼市で田植え・稲刈り体験を実施。 減農薬の給食米の生産を通して栽培技術伝承、中山間地の耕作放棄地対策や、地域雇用創出等を実現するため、志を同じくした地元の農家の方と共同で平成25年に株式会社南魚沼生産組合を設立。
石川県金沢市	NPOほうじん NPO法人みんなの畑の会	 (市民農園みんなの畑)  (放置竹林の整備) 市民農園利用者と一般募集のボランティア参加で里地里山の整備等、交流を楽しみながら次世代の為の環境作りを実施。 通学見守り、防災士、町会役員の体験から住民交流の必要性を実感し、地域の耕作放棄地を市民農園として活用することで新たな交流と賑わいを創出。 後継者不足で荒廃する農地と放置竹林を整備活用することで、住民の憩いの場作りと新たな産業創出と、地域の歴史文化と知恵と知識を次世代に繋ぐ活動を開始。

所在県市町村	地区名		取組の概要
富山県射水市	(有) 片口屋、(株)ファームクリエイト、(株)うなぎ食工房の連携体	 <p>(鮭魚醬残渣を使った有機肥料)</p>  <p>(いなきび栽培)</p>	<p>富山県内の鮮魚店で廃棄されるブリの内臓を回収し、2014年12月に日本初となる鮭魚醬の製造販売を開始。</p> <p>魚醬製造過程で多量の油と固形物が排出されるため、食品ロス・廃棄物削減の観点から残渣を活用する方法を模索した結果、県立小矢部園芸高校の協力を得ることで、残渣などを活用した有機肥料を開発。</p> <p>黒部市で「いなきび」を栽培している(株)ファームクリエイトと協力し、本格的に鮭魚醬残渣と米ぬか、ビールを搾った後の麦を活用した有機肥料を開発し、「いなきび」栽培をスタート。加工食品開発に着手。</p>
福井県福井市	さんりはま 三里浜オリーブ生産くみあい組合	 <p>(塩漬けのラベル「稗中学校作成」)</p>  <p>(オリーブ園)</p>	<p>休耕地等の地権者の理解を得て無料で農地を借り、オリーブの苗木を年次計画的に植樹し、現在2,000本を超え、昨年にはオイル等の加工場を改築し、オイルやお茶等の加工品の販売を開始。</p> <p>古くから園芸産地としての技術力を活かし露地野菜を中心に生産していたが、高齢化と鳥獣害、防風林の荒廃の影響で景観が悪化。</p> <p>防風林として効果が望め美容と健康に注目を浴びているオリーブを植樹し、地域を元気にする取組を開始。</p>

所在県市町村	地区名		取組の概要
新潟県阿賀町	はたの 波多野 けんじ 健治	 <p>(鳥獣害対策の基礎講演会)</p>  <p>(サル加害群の動きの見える化)</p>	<p>平成21年からサル加害群の勢力を縮小させる等の活動を行い、長岡技術科学大学の山本麻希准教授に師事し、有害鳥獣全般を学び、阿賀町内のサルの分布や誘導域の「見える化」や、住民への情報提供、研修会等の開催による鳥獣被害対策を実践。</p> <p>その実績から「阿賀町地域おこし協力隊」として招聘され鳥獣害対策に従事。</p>